

公益社団法人 日本青年会議所 四国地区 徳島ブロック協議会	
組織支援委員会 委員長 高野 照晃	
現状分析	<p>(ブロック大会 記念式典) 毎年開催されるブロック大会は本年第46回目を迎えます。2016年度から2018年度のブロック大会出席会員数は120名前後であり、約40%の出席率(昨年131名45%)となります。県内7LOMが一堂に会し、活動内容と次年度の体制が発表され、会員の交流と方向性の確認の場となり、年に一度の式典であるため、より多くの会員出席が望まれます。</p> <p>(ブロック大会 記念事業) 少子高齢化で地方の疲弊が進むなか、近年、本会において徳島の地域資源を活かしたブランディング事業が創出され成果を残しました。本年は徳島のブランド力をより高め、新たなターゲット市場を開拓するため、地域資源を活用する人と、その人が育つ環境である地域の歴史・文化をもう一度見なおして、オンリーワンブランドを目指す必要があります。特に、地域にある固有資源を再確認する機会を設けることが重要と考え、一般市民も参加することで、地域の資源を市民に有用な価値へと結びつけ、オンリーワンブランドとして価値化していき、地域活性化を図ることを考えていく必要があります。活動に対し地域住民からご理解を得るため、共に地域活性化に繋がる記念事業を開催する必要があります。</p>
活動概要	<p>(ブロック大会 記念式典) 本年度徳島ブロック協議会の活動を内外へ報告して、次年度ブロック会長・ブロック大会開催地を発表し、次年度へと繋げる盛大な式典を開催します。</p> <p>■③地域経済ビジョンの構築</p> <p>(ブロック大会 記念事業) 世界に誇ることのできる歴史や文化を学びなおし、徳島のオンリーワンブランドを明確化し、ブランドの価値が正しく伝わる事業を行っていきます。</p>
S D G s	【ブロック大会 記念式典】 17 【ブロック大会 記念事業】 8、9、11、17
K P I	<p>(ブロック大会 記念式典) 7LOMと連携して随時情報を発信するとともに、PR活動を積極的に行うことで徳島ブロック協議会会員出席数150名(2019年期首比50%)を目指します。</p> <p>(ブロック大会 記念事業) 地域資源を有効に活用し徳島の魅力と歴史・文化を学ぶ機会を設け、他団体と連携して一般参加者を200人目指します。</p>
IMPACT(影響力)	<p>(ブロック大会 記念式典) 会員一人ひとりの意識改革により士気を高めます。</p> <p>(ブロック大会 記念事業) 阿波の国、徳島をもう一度学びなおすことで、徳島の地域資源を再確認し、また徳島県民としての誇りを持つことで、他地域との差別化を図ることに繋がります。</p>
MOTIVATE(意欲)	<p>(ブロック大会 記念式典) 記念式典を行うことで、各LOMの誇りと行動意欲を増進します。</p> <p>(ブロック大会 記念事業) 徳島の歴史・文化を学びなおし、参加者のアイデンティティの確立に寄与し意識を高めます。</p>
INVEST (投資)	<p>(ブロック大会 記念式典) 開催地に積極的に投資をすることで、価値ある記念式典を行います。</p> <p>(ブロック大会 記念事業) 人材に投資を行い、参加者が徳島人としての誇りを持てるように促します。</p>
COLLABORATE (協力)	<p>(ブロック大会 記念式典) 徳島県内7LOMと行政、商工会との協力関係を深め、魅力ある徳島の創造に寄与します。</p> <p>(ブロック大会 記念事業) 商工会、教育機関、宗教法人など各種団体と協力し、より効果的な事業を行います。</p>
CONNECT (つながり)	<p>(ブロック大会 記念式典) 行政、商工会などの組織とつながりを強め、会員拡大に繋がります。</p> <p>(ブロック大会 記念事業) 徳島県、各地観光協会、各市町村などの組織とつながり、地域資源を生み出す力を養います。</p>
政策手法 (ゴールデン サークル)	<p>(ブロック大会 記念式典) Why(理由): 本年度の活動を報告し、次年度ブロック会長・ブロック大会開催地を発表して周知する記念式典を開催する必要があります。 HOW(手法): 各LOMと綿密な連絡をとり、PR活動を積極的に行います。 What(行動): 会員一人ひとりの士気を高め、意識改革に繋がります。</p> <p>(ブロック大会 記念事業) Why(理由): 徳島県が全国で置かれている現状は、魅力度、幸福度も低い位置にあり、少子高齢化など問題が続く徳島を今一度活性化させる為に、徳島のオンリーワンブランドを目指す必要があります。 HOW(手法): 地域の歴史・文化を学びなおし、オンリーワンブランドを明確化してブランドの価値が正しく伝わる事業を行います。 What(行動): 事業を通じて徳島県民としての誇りを持てるように促します。</p>
パートナー	<p>(ブロック大会 記念式典) 徳島県庁、鳴門市、板野郡各町、商工会議所、商工会</p> <p>(ブロック大会 記念事業) 徳島県庁、鳴門市、板野郡各町、県内各教育機関、商工会議所、商工会</p>